



受賞を喜ぶ渡邊さん(左)

## 長年の功績が称えられました

12月19日に、総務大臣表彰を受賞した渡邊ヨシ子さんが富田市長へ報告に訪れました。表彰はひとり親家庭交流会や子育てサロンを開催するなど、母子家庭における生活環境の向上に尽力した長年の功績が称えられたものです。

渡邊さんは「母子寡婦の福祉の推進・強化は今後ますます重要になってきます。今までの経験を生かして後進の育成に精一杯努めます」と語ってくれました。

## みんなでまちを守ろう

毎年の年末、市内各地では消防団による夜警が行われます。

兼山地区では12月27日、地域の小学生と一緒にまちを見回りました。消防団の活動を知ってもらい、身近に感じてほしいと始めたもので、10年以上続いています。

この日は16人の小学生が参加。子どもたちは地域の皆さんが安心して年末年始を過ごせるよう、寒い中でも元気よく火の用心を呼びかけました。



まちを見回る消防団員と子どもたち



一斉放水の様子

## 防災の願いをこめた水柱

1月7日に消防出初式が行われ、消防団員と消防職員311人が参加しました。福祉センターで行われた式典では、消防活動に功績のあった団員や職員が表彰を受けました。

式典後には市役所に会場を移し、周辺市街地を行進。大勢の市民が見守る中、消防車16台による可児川に向けた一斉放水を実施。色とりどりの水柱が上がる中、防災の決意を新たにしました。

## 新しい畳で稽古始め

谷迫間の錬成館で1月8日、可児市柔道協会による鏡開き式が行われました。

錬成館では昨年、全日本柔道連盟の規格に合わせた畳に張り替え。今回が新しい畳で披露する初めての式となりました。

出席者で1年の無事を祈った後、小学生から大人まで約30人が受け身や乱取りなどの初稽古を披露。来賓が見守る中、心地よい汗を流しました。



稽古を披露する子どもたち

## すべての縁に感謝しよう

平成30年可児市成人式を1月7日に文化創造センター・アールで開催し、新成人となる1,170人の門出を祝いました。

今年も成人式のテーマである「縁」にちなみ、実行委員会が新たな2つの取り組みに挑戦。新成人川柳では214句が集まり、会場内や記念冊子で披露されました。また、SNSのアプリ・Instagramでのフォトコンテストでは「あなたの笑顔がいちばんの親孝行」と題して写真を募集し、たくさんの笑顔あふれる写真が集まりました。

「可児市の魅力を広め、次の世代に引き継ぎ、より一層豊かな街にしていくことが地域への恩返し。お世話になった人に感謝の気持ちを伝えましょう」と成人式実行委員長の加藤優さんが誓いの言葉を述べ、未来へはばたいていく力強さを感じられました。



実行委員の皆さん(加藤さん=左から4人目)



フォトコンテストに投稿された写真



クリアファイルを手にする生徒たち

## 笑顔が広がるように

11月30日に、学校づくりのスローガン「笑顔の学校」の一環として、クリアファイルが西可児中学校の生徒会に贈られました。これは8月の生徒会サミットで決定した宣言を形として残すため、生徒会代表が作成を要望していたものです。ファイルは市内全ての小中学校の児童生徒に配られました。

代表して受け取った松井里奈さんは「笑顔の学校づくりを広めたい」と話してくれました。

## 元気ハツラツに駆け抜けました

12月10日に、可児駅伝競争大会が行われました。今年の大会は60回目を迎え、125チーム676人が参加。

一般の部と女子の部のスタート地点となった可児郷土歴史館では、気合の入った人や緊張の面持ちの人などさまざまな気持ちを抱いて待ちます。それでもスタートの号砲が鳴ると、ランナーたちは仲間が待つ中継地点へと勢いよく走り出していき、沿道からは声援が送られていました。



一斉に駆け出すランナー